

「 選択の自由 」

鳥は飛び方を変えることはできない。動物は這いかた、走り方を変えることはできない。

しかし、人間は生き方を変えることができる。毎日の行動を変え、新しい習慣を形成する事に、新しい習慣の選択を人間は決心できる。そして、意志と努力によって新しい習慣を繰り返すことで新しい自己を形成することができる。それは、人間と動物を根本的に区別するものといえる。

(いのちの言葉 日野原 重明)

新年のお慶びを申し上げます。皆様にとって幸多き一年となりますようお祈り申し上げます。

新しい年を迎え、「今までとは違う自分になりたい」「こんなところを努力したい」と、抱負や目標を立てた方も多いのではないのでしょうか。一方昨年を振り返ってみると成果が得られなかったと後悔の念に苛まれる事もあると思います。中でも「悪い習慣が辞められない」、「決めた事が継続できない」などは、誰もが一度は思い当たる事だと思いますが、それは、脳が新しい変化に抵抗し安全性を保つ為にいつも通りを維持しようとする本能があるからだと思います。やはり、これ迄の生き方を一変するには強い意志と新たな習慣を自分のものにすることで果たせるのだと思います。

私たちの毎日は習慣で作られています。日々の生活は人格を形成しており習慣が変われば人格も変わっていきます。まずは動き出さない事には何も始まらないので、この1月を良い機会だと捉え挑んでみても良いと思います。

保育園では子どもたちが食事の前に手を洗い、椅子に座りエプロンをつけるなど決まった手順で準備を毎日続けることにより、段々と進んで行動してできるようになります。又、戸外遊びの準備なども生活の流れを決めておくことで、次に何をすればよいのか見通しを持ち、自主的に取り組めるようになってきています。更に、そこで見守っている大人(保育者)の存在を感じながら出来た喜びや満足感を土台にして自己肯定感が高まり、安心して行動できるのです。そして自信へと繋がり、次も頑張ろうと思える意欲が生まれてくるのだと思います。

幼児期は基本的な生活習慣や心情、意欲、態度等人間形成の基礎を培うとても重要な時期です。これからも、遊びや生活の中で繰り返すたくさんの実体験を通し、「生きる力」が身に付くよう子どもたちの成長を見据え、かけがえのない財産となるよう 育ちを支えていきたいと思っています。

クレイシュ保育園 園長 小清水 幸子

職員一同

1月聖句

わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。

ヨハネによる福音書15章5節

1月主題

「いっしょに」0歳

- ・神さまに守られていると感じる。
- ・友だちや保育者と一緒にいることを喜び、関わりあう。
- ・自分でやってみようとするが増える。

1・2歳

- ・神さまに愛され守られていると感じ、喜ぶ。
- ・友だちの真似をしたりされたりして遊ぶ楽しさを感じる。
- ・冬の自然の中で身体を動かす楽しさを感じる。

～子どもたちの姿～

朝の冷えた空気が、気持ち新たに身も心も引き締めてくれるような新年のスタートです。

12月のクリスマス祝賀会では、これまでの生活で触れた音やリズム遊びでの経験が自分なりの表現力となっている様子があり、又、それぞれの個性に合わせた衣装をととても喜んで、緊張の中にも笑顔がみられました。そして、友だちと共に舞台に立つことや、控室で讃美歌を歌い、保育者と共に祈る姿に、日常の一つひとつの積み重ねが成長につながっていることが改めて感じられました。

これからも一人ひとりの興味や関心の幅が広がるよう環境を整え、心身の育ちを支えていきたいと思っています。



| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|--------|---|----|---------------|----|------------|----|----|
| 1月の予定表 | 1 元旦 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| | 8 成人の日 | 9 | 10 身体測定 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| | 22 避難訓練 | 23 | 24 | 25 | 26 誕生日会 | 27 | 28 |
| | 29 | 30 | 31 クレイシュ通信 | | | | |
| | | | | | | | |
| | <small>◎インフルエンザなどの感染症が流行する季節です。いつもと様子が違う様子がありましたら必ず、登園時にお伝えいただき、風邪症状などがある場合は早めの受診をお願いいたします。</small> | | | | | | |